



# おくすり通信

## No. 62 ステロイド外用薬

こんにちは、薬剤科です。OTC 医薬品には医療用と同成分のステロイド外用薬があります。ステロイドは使用目的などに応じて適切に選択し、適切な使用方法を守ることが大切です。

### 《ステロイドとは》

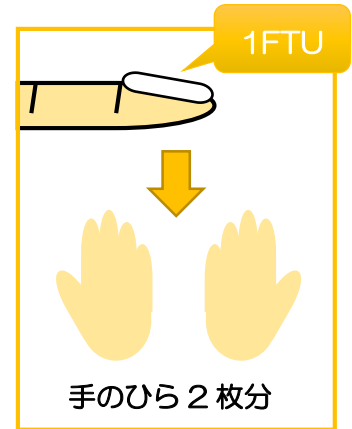
ステロイドは腎臓のすぐ上にある副腎という臓器の皮質で作られているホルモンの総称です。そのうちの1つであるコルチゾール（糖質コルチコイド）という成分と同じ作用を持つものを「ステロイド」という薬として使っています。炎症やアレルギーを抑える効果があります。

ステロイド外用薬の副作用は塗った箇所に現れ、にきび、皮膚が赤く見える、皮膚が薄くなる、多毛、皮膚感染症、接触皮膚炎などがあります。全身性の副作用は大量または長期に使用しなければ起こりません。

### 《ステロイドの選択、使用方法》

外用薬のステロイドの強さは5段階に分類されており、年齢や症状の度合い、使用部位に応じて使い分けます。皮膚が薄い部位（顔、首、脇、陰部）は副作用が生じやすいので、強度の低いものを使用したり、塗布回数を減らしたりします。

使用量の目安として、FTU（フィンガーチップユニット）という単位が使われます。大人の人差し指の先から第一関節まで薬を乗せた量のことです。チューブの穴の直径が5mm程度の場合は1FTU＝約0.5gに相当します。1FTUで大人の手のひら2枚分の面積の塗るのに適した量となります。



OTC薬を使用する際は、5～6日間使用しても症状がよくならない場合は医療機関を受診してください。

### 《ステロイドの強弱》

ステロイドを強度で分類した際、OTC 医薬品として購入できるのはストロングから下のものになります。

ステロイドの強度	主な成分名	主な商品名（医療用/OTC）
ストロングスト （最強）	クロバタゾールプロピオン酸エステル ジフロラゾン酢酸エステル	デルモベート（医療用） ダイアコート（医療用）
ベリーストロング （かなり強力）	ベタメタソン酪酸エステルプロピオン酸エステル ベタメタソンジプロピオン酸エステル	アンテベート（医療用） リンデロン-DP（医療用）
ストロング（強力）	ベタメタソン吉草酸エステル	リンデロンV（医療用） リンデロンVs（OTC）
マイルド（中等度）	ヒドロコルチゾン酢酸エステル	ロコイド（医療用） ロコダイン（OTC）
ウィーク（弱い）	プレドニゾン	プレドニゾン（医療用）

上表に挙げたリンデロンVsとロコダインはどちらもスイッチOTCです。ただ、リンデロンVsは医療用の薬剤と同一濃度ですが、ロコダインは医療用の半分の濃度になっているので少し弱く感じるかもしれません。

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。